

## 「フリースクールカシオペア」ご案内



もうひとつの  
未来の創り方！

見学&体験は  
初回無料（1時間）  
まずはお電話か  
メールを下さい。

### ◆趣旨



◇小人数の刺激の少ない環境、落ち着いて自己表出ができると思える環境で、その子の特性、現状に合わせた学習、レクリエーションを行い、「できた」「わかる」「楽しかった」「たくさん話せた」という小さな成功体験を積み重ねて自己肯定感、自信を育む場所です。ポイントは不安を小さくする環境、対応で、シンプルに学習する点です。

◇お子さんの理解、記憶、運動、コミュニケーションなどの脳内ネットワークが少しずつ発達していくよう、支援します。◇学校、家庭以外の別の居場所をキープすることで、学校生活や、大人への成長に向けて役立てただけなら幸いです。LD、ディスレクシア、ADHD、ASD（自閉スペクトラム症）などの子どもも支援します。



◆対象 小学1年生～高校3年生

◆担当 中久木俊之（略歴後述）

◆利用 基本的に1対1（保護者同席もOK）

1回1時間30分（1時間20分と保護者への報告10分）  
※子どものコミュニケーション力を育てるなどニーズに合わせて、1対2で行う場合もあります。

◆費用（1か月につき）

1回4,000円×回数+報告書1,000円  
欠席のご連絡は3日前までに連絡いただければ振替OK  
（個人用教材は別途実費いただきます）

◆開設日時 月曜日、火曜日、水曜日  
9:30～11:00 11:00～12:30  
13:00～14:30 14:30～16:00 など  
利用者に合わせます。  
終了時に保護者への報告（お話）10分

◆基本スケジュール  
（学習5分、休憩レク5分の例）

10:00 入室 あいさつ  
10:05 学習1（5分）  
10:10 卓球  
10:15 学習2（5分）  
10:20 ウノ  
10:25 学習3（5分）  
10:30 オセロ  
10:35 学習4（5分）  
10:40 パパ抜き  
10:45 学習5（5分）  
10:50 卓球  
10:55 学習6（5分）  
11:00 将棋  
11:05 学習7（5分）  
11:10 風船バレー  
11:15 学習8（5分）  
11:20 保護者の方へ本日の報告  
11:30 退所

※音読、計算、言葉の意味理解など6回～8回程度、  
学習する子は多いです。

◆学習内容 個別対応です。不安、ストレス、学習の負荷、  
興味関心で大きく変わります。楽しく終わるようにします。

◇算数の学習（例）

できるところから始めます。余分なことはしないので、思っているよりどんどん進むことがあります。月3回の学習を1年間で、中1から中3までの数学を学習する子がいます。ポイントは、本人の負荷を小さくして、本人が、できた！と思う学習を繰り返して積み上げていくことです。



◇国語の学習（例）

漢字や語彙力を高める学習を、会話をしながら進めます。書き順や単語、短文を音読して確認していきます。コツコツ行い、半年ほどで読みが著しく向上する子がいます。

◆報告書

月に1回、作成します。学校に提出すると、校長先生の判断で、出席日数にカウントされることが多いです。

◆レクリエーション

ウノ、トランプ

などのカードゲーム、ミニ卓球、

キャッチボール、オセロ、将棋、絵を描くなど、  
本人が興味あることを行います。気分転換、  
おしゃべりを通じて本人を認めることに  
重点を置いています。



◆支援で重視していること

本人の意識の集中、モチベーション、記憶の持続、手先の動きなどを観察し、どう使っているかを重視します。学習に注意を向ける力は人それぞれです。

◆持ち物 筆記用具、水筒。電子ゲーム機や携帯電話、スマートフォンは持参OKですが、学習中は使えません。

◆相談および見学・体験

毎週月、火、水の空き時間（メールか電話で要予約）  
お子さんとご一緒にお越し下さい。保護者のみのご相談もOKです。初回1時間、無料。

◆連絡先

〒456-0024 名古屋市熱田区森後町7-14 沼田ビル3階  
NPO法人子ども支援室カシオペア

電話 052-228-0842 kodomosien@gmail.com

<http://kodomosien.nagoya/>

地下鉄神宮西駅①出口徒歩1分

JR 熱田駅徒歩5分 名鉄神宮前駅徒歩10分

コインパーキング近隣に多数あり

## ◆学習支援の考え方

学習とは、脳の情報ネットワークを整え、作ることである。

- 脳をよく働かせるためには、心理的安全性の確保が必須
- 日常生活で承認欲求が満たされていない場合、別の誰かに認めてもらう環境をキープすることが必要である。  
→アサヒキャンプ名古屋の行事に参加して、大学生の支援を定期的に受けるなど
- 脳の意識の安定、切り替えをスムーズに行えるよう促す  
(デフォルト・モード・ネットワークの安定と切り替え)

## ◆中久木の研修

課題（タスク）を行うためには、意識（タスク・ポジティブ・ネットワーク）を課題実行のために切り替える必要があります。この切り替えが学習支援のポイントである、という立場から支援しています。その根拠は海外の発達障害関係研究者の講演動画です。

## □大切なこと

フリーズさせずに、スモールステップで何回も作業する。繰り返すほど、脳内ネットワーク回路は整備される。身体が大きくなる中学生頃に大きく伸びることが多いので、地道に小学校時代の心理的安全性を確保して成長を待つ。

## □利用回数について

月2、3回の利用の子が多い。学習を進めるのであれば月3回以上が望ましい。居場所中心であれば月2回でOK。

## □個別対応

個別対応です。お会いして少しずつ対応を変化、修正していきます。

### 事例1 小学低学年 音読

できる範囲で音読。疲れたらすぐ休憩、カードゲームなどで気分転換。母親同伴もOKです。半年ほどで著しく音読、学習意欲が改善する子がいます。

### 事例2 小学低学年 漢字を覚える

書き順を唱えることで書き順を覚え、書くこと読むことが少しずつできるようになり、語彙力が向上する子がいます。

事例3 小学中学年～中学生 特定の興味のある話  
特定の興味のある話を話し続けることもOK。名鉄、ドラゴンズ、レゴなど。少しずつ話の焦点をずらして対応させていただきます。

事例4 小学高学年～中学生 算数がわからない  
小3、小4のあたりで算数がつまずいている子は多いです。マンツーマンの指導だと、理解していく子がいます。地道にわかるところから行います。

事例5 小学高学年～中学生 言葉の概念を整理  
言葉、熟語の意味の理解が不十分な子は、言葉を少しずつ、読み、書き、意味の確認をしていきます。文章題を解くための前提条件のひとつです。

事例6 小学高学年～中学生 切り替えの難しい子  
切り替えの難しい子は、まずは興味をもってできることから始めます。本人の様子を見て、切り替えのタイミング、別の作業の提案を行います。

事例7 小学高学年～中学生 会話して学習が進む子  
会話をしていると、不安感や気になることが減少し、学習が進む子がいます。遠慮なくおしゃべりしながら学習します。

事例8 小学高学年～中学生 お腹が痛くなりやすい子  
朝は苦手な場合が多いので、午後の時間帯を提案。本人の調子のよい状態に合わせた対応をします。

事例9 計算の苦手な小中学生 負荷を下げて計算  
筆算の計算の手順が、負荷がかかりすぎる子は、負荷を下げて計算する方法を試します。実際に足し算、筆算ができるようになった子がいます。

事例10 高校生の不登校  
高校で不登校になり、来た子もいます。本人の気持ちや休み、落ち着き、タイミングを見て、一緒に今後について考え、大学に進学した子がいます。

中久木俊之 略歴  
1988年～2006年、朝日新聞厚生文化事業団にて、発達障害や不登校の小中学生が自己肯定感を育てる「アサヒキャンプ」を担当。2007年NPO法人アサヒキャンプ名古屋を立ち上げ、事務局長。小5での学校宿泊学習に向けて、大学生多数がサポートして親元を離れる練習になる1泊キャンプなどを行っている。

2010年から2024年まで「特別支援教育支援員養成講座」を29回開催。  
フリースクールは2015年4月開始。細かく観察し、本人がフリーズしないよう、本人の承認欲求を満たしながら、その子に合わせたスモールステップを行う学習スタイルである。  
自己肯定感、意欲を高めて学習すると、大きく成長していくことを子どもたちの実例から学んでいる。最近は、発達障がい関係の海外の講演動画を視聴して学びとしている。

◆問い合わせ  
まずは電話かメールをいただくと幸いです。  
次の項目を教えていただくとありがたいです。

◆お名前（ふりがな）  
◆学校名 立 小学校・中学校  
学年 年 組（通常学級・特別支援学級）  
◆保護者氏名 ◆保護者携帯番号  
◆住所 〒 -  
◆自宅 TEL - -  
◆メールアドレス

◆問い合わせ内容  
 相談  見学  体験  その他  
◆相談内容 お子さんの現状と保護者の思い  
ご自由にお書きください  
◆希望日時 第1希望 月 日（ ） 時